

2 人材開発の目的

(1) 「県民本位・県民が主語」の県政を実現する

変革する社会情勢において県政を進めるに当たっては、多様な行政需要を見極め、確実に実行する力が重要となります。

そのためには、実際に現場に出向いて県民の意見を聞く「現場主義」により、真に必要なとされる取組や目標を進めていくことが求められます。

そこで、職員の共感力や調整力などの能力を高める人材開発を進め、「県民本位・県民が主語」の県政を実現していきます。

(2) 「変化に迅速に対応」する県政を推進する

少子高齢化や人口減少などかつてないスピードで社会変化が進む中、表面化する課題やこれまでに類を見ない困難な問題には、過去の経験則に基づいた行動だけでは乗り越えられません。

何が起こるかを予想しつつ、県として行うべきことは何かを考え、先手先手を打っていくことが求められています。

また、状況の変化等を踏まえ、目標や仕組みを常に見直し、迅速に修正・改善をしていく姿勢も重要です。

そこで、職員が想像力を働かせ、変化する社会環境に対応し、課題解決を図れる人材開発を推進することで、「変化に迅速に対応」することができる県政を推進していきます。

(3) 女性職員をはじめとした全ての職員が能力を発揮し、活躍できる県庁とする

全ての職員が自身の能力を磨き、それを最大限に生かして仕事の成果を上げ、自己の成長を実現することは、職員の「働きがい」につながるとともに、多様な視点から様々な県民サービスを実現・提供することにつながります。

また、多様な人材が意欲・能力を高め活躍するためには、職場におけるDX推進や働き方改革などの取組が不可欠であり、県庁全体のパフォーマンス向上にもつながります。

そこで、全ての職員が活躍できる人材開発を進め、また、誰もが能力を発揮できる職場づくりに取り組みます。